

「めくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

令和2年5月発行 No.339

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

消えた国体お手玉パンフで

鹿児島お手玉の会が自前で作成

第75回国民体育大会「燃ゆる感動 かごしま国体」は、「熱い鼓動 風は南から」をスローガンに、この秋に開催が予定されています。この国体では、デモンストレーションスポーツとして「お手玉」が、4



デモンストレーションスポーツ

お手玉



期日 令和2年4月26日(日)
会場 県民交流センター大ホール
西棟2階 大ホール

主催 公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・鹿児島県・鹿児島市

月26日(日)に予定されていました。

「お手玉」の採用は、鹿児島お手玉の会(山本清洋会長)が中心になり鹿児島県、鹿児島市の国体担当部局のご支援とご協力で採用が決まりました。

ところが、折からの新型コロナウイルスの感染拡大で、国体デモスポ「お手玉」が中止になりました。この大会には、県外からの参加も含め24チームと審判や役員を合わせると総勢200人で、お手玉の競技、お手玉演舞を楽しむ予定でした。

山本会長は、「大会のあと『後夜祭』で交流を深

め、お手玉文化の普及・発展を願っていただけに、中止は誠に残念のきわみです」と話しています。(写真右上：山本会長)

そこで山本会長は、鹿児島お手玉の会の会員に援助を求めました。「記念すべき幻の『デモンストレーションお手玉』を、

いつまでも心に止め置き、思い出として残そう。そのためにプログラムを作成しよう」と。それが賛同を得て、山本良江事務局長はじめ会員のみなさんの献身的な努力でプログラムが完成しました。

プログラムは、A4版、18頁、表紙はカラー印刷で、三反園訓鹿児島県知事のあいさつ、山本会長の大会に寄せることば、大会役員、参加チーム、組み合わせなどが掲載されています。(写真左)

山本会長は、このプログラムについて、「大会への参加者を予定していた人々や、役員をお願いしていた人など、すべての人の手元に届けます。ご家族のみなさん、お友達との交流の中で、一人ひとりの名前が載っているこのプログラムを、話の中に入れてください」と、制作の思いを話しています。

鹿児島市の鹿児島国体競技課からは、日本のお手玉の会に「国体お手玉の宣伝に電車の中吊り広告で利用できる写真を提供してほしい」との依頼があり、お手玉大会の写真を提供しました。(写真右下)

